

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	建設局 総務課		重点項目	局内の連絡調整、予算および決算に関する事務を適正に行う。		
課長名	河端 隆一	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	2,794,916 千円	人件費
				H30(2018)年度当初予算額(B)	2,737,515 千円	
				増減額(A-B)	57,401 千円	
				目安の金額	課長 1 人	
					116,500 千円	係長 3 人
						職員 10 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				土木職員費	土木職員費	—	2,683,982	2,730,362	46,380
2				西部整備事務所(コン ティ)管理経費	西部整備事務所に係る管理経費	—	7,109	7,633	524
3				建設総務一般	総務および用地管理に係る一般事務経費	—	14,812	14,451	-361
4				研究会等参加事業 (人権研修会等経費)	人権研修等の参加に要する経費	—	140	146	6
5				土地取得特別会計繰出 金	土地取得特別会計への繰出金	—	26,999	37,810	10,811
6				東西整備事務所保有車 両リース化事業	東西整備事務所が保有する車両の一括リース化	—	4,473	4,514	41

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	建設局 管理課		重点項目	道路の適正管理		
課長名	猪本 由美子	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	281,491 千円	人件費
				H30(2018)年度当初予算額(B)	283,396 千円	
				増減額(A-B)	-1,905 千円	
				目安の金額	101,500 千円	課長 1 人 係長 3 人 職員 8 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				道路台帳整備	市の管理する道路の台帳図、調書を整備し保管する業務	—	158,423	156,023	-2,400
2				道路不法占用物件除却 事業	道路交通の安全及び良好な景観を形成する上で支障となっている不法占用物件を除却し、道路利用の適正化を図るとともに、安全で快適な道路環境を保持するもの	—	1,790	1,370	-420
3				屋外広告物規制事務	屋外広告物法及び条例に基づき、まちの良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、広告物の掲出方法・維持管理等について、規制・指導を行うもの	—	35,053	36,005	952
4				道路管理システム	道路占用管理業務をコンピュータ処理することにより、占用許可業務の合理化、道路工事調整業務の迅速化及び事故防止対策の徹底、その他道路及び占用物件管理業務の高度化を図るもの	—	67,373	64,572	-2,801
5				土木管理一般	道路管理事務に係る一般事務経費	申請件数が急増している特殊車両の通行許可業務を円滑に行うため、審査方法の見直しを行うとともに単純作業部分を集約し、囑託職員による対応を検討することで業務の効率化を図る。	20,757	23,521	2,764

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	建設局 用地管理課		重点項目	地籍調査事業を計画に基づき着実に進めていく。						
課長名	太田 真千子	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	102,523 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	94,403 千円		係長	5	人	
				増減額(A-B)	8,120 千円		職員	14	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				地籍調査事業	国土調査法に基づき、一筆毎の土地の所在・筆界・面積等を調査・測量し、境界を明確化するもの。 調査の成果は法務局に送付後、登記に反映される。	・国は、土砂災害等の被害想定範囲や道路、公園等の社会資本総合整備事業の先行事業として地籍調査に優先的に補助金を割り当てている。本市においても国の動向を踏まえた調査区域を検討し、要望を行っている。 ・地籍調査事業の着実な推進のため、一筆地調査面積を拡大した(2018年度:1.18km ² →2019年度:1.40km ²)。	94,403	102,523	8,120

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	建設局 道路部 (道路維持課、道路計画課、 道路建設課、街路課)		重点項目 本市の成長戦略及び都市の強靱化に大きく関わる路線、早期に整備効果が発現される路線を重点的に整備する。また、通学路の安全対策などを着実に実施し、安全で安心な都市基盤の整備を推進するとともに、橋梁・トンネルの長寿命化、道路構造物の定期点検を計画的に実施し、効率的で適正な維持管理に取り組む。							
	課長名	宮野 謙剛、北島 徳隆 福田 訓己、山添 和己		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	31,582,062 千円	人件費	目安の金額	課長 5 人
						H30(2018)年度当初予算額(B)	25,597,207 千円		係長 17 人	
						増減額(A-B)	5,984,855 千円		職員 49 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			東九州自動車道等整備 促進経費	東九州自動車道建設促進協議会および国道3号黒崎バイパス建設促進期成会等の要望活動にかかる経費。	東九州地域間の交流促進や空港アクセス機能強化、黒崎地区の渋滞緩和による物流の効率化を図るため、協議会を通じ国等に積極的に働きかける。	3,910	4,090	180
2				施設維持管理事業(指定 管理)	河内サイクリングセンターの管理運営業務に係る指定管理業務委託料	指定管理者と協力し、効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	2,646	2,721	75
3				施設維持管理事業(公 共)	河内サイクリングセンターの施設運営及び維持管理経費		240	236	-4
4				放置自転車対策事業(指 定管理)	自転車駐車場の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	市営自転車駐車場の利用実態や周辺の放置自転車の状況等を総合的に勘案し、安全・安心な駐輪環境の提供と効率的な自転車駐車場の管理運営、放置自転車対策に取り組む。	226,327	232,558	6,231
5				放置自転車対策事業	自転車駐車場の維持管理と放置自転車の撤去等に係る経費		63,690	58,654	-5,036
6				自転車利用促進事業(行 政経費)	コミュニティサイクル(シティバイク)のステーション運営及び利用促進に係る経費	効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	2,851	2,730	-121
7				防災・安全交付金(道路 維持)(債務負担)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施する。	—	60,000	0	-60,000
8	○			防災・安全交付金(道路 維持)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施する。	道路構造物の定期点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、効率的・効果的な管理を実践する。	1,980,000	4,496,534	2,516,534
9		○		<新>若戸大橋・若戸ト ンネル長寿命化事業	若戸大橋・若戸トンネルの予防保全型の維持管理を長期保全計画に基づき実施する。			250,000	250,000
10	○			単独事業(道路維持)	道路舗装等の道路施設の補修を実施する。		1,420,000	2,521,800	1,101,800

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11	○			市民による地域のまちづくり整備事業(道路維持)	身近な生活道路の環境整備や補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進する。	道路構造物の定期点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、効率的・効果的な管理を実践する。	682,200	682,200	0
12			にぎわいの都市づくり(道路維持)	都心・副都心及び主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を行う。	321,800		336,000	14,200	
13			公共施設等適正管理推進事業	道路の適正な管理を実施するため、補助事業等と一体となって道路施設の長寿命化対策を推進する。	516,000		500,000	-16,000	
14			道路一般維持(公共)	生活道路等の維持管理を実施するための経費。	1,354,395		1,348,500	-5,895	
15			道路管理施設維持(公共)	道路照明灯やトンネルなどの施設を維持管理するための経費。	611,842		608,471	-3,371	
16	○			<新>若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	若戸大橋・若戸トンネルの維持管理を実施するための経費。		100,000	100,000	
17		○		若戸大橋・若戸トンネル無料化推進事業	平成30年度の若戸大橋・若戸トンネルの無料化を実施するための経費。	—		-200,000	
18		○		若戸大橋・若戸トンネル無料化推進事業		—	2,800,000	-2,800,000	
19	○			道路サポーター	道路の清掃や花壇の手入れなどを行う地域団体の活動を支援し、道路の美化につなげる。	市民と行政の協働による道路の美化清掃、道路異常箇所の通報などの活動により、良好な道路環境の維持につなげる。	16,297	17,029	732
20	○			恒見朽網線関連事業(道路改築)	新門司港、北九州空港移転跡地、臨空産業団地、北九州空港などの産業物流拠点が集積する周防灘沿岸部の物流機能強化を目的に恒見朽網線などの道路整備を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	990,000	2,533,704	1,543,704
21	○			国直轄事業負担金	国が実施する道路新設改良事業等に係る経費を一部負担する。		1,240,000	1,115,666	-124,334

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
22				社会資本整備総合交付金(道路改築)(債務負担)	国道や地方道の道路新設改良を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	20,000	0	-20,000
23	○			社会資本整備総合交付金(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。		1,200,000	1,441,216	241,216
24		○		<新>都市再生整備計画(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。			18,000	18,000
25	○			単独事業(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。		820,000	710,000	-110,000
26				防災・安全交付金(交通安全)(債務負担)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	0	0	0
27	○			防災・安全交付金(交通安全)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。		1,143,000	1,335,995	192,995
28			○	都市再生整備計画(交通安全)	都市再生整備計画で整備する主要な施設の周辺道路において、交通安全対策を行う。	—		-346,000	
29	○			単独事業(交通安全)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	990,000	910,000	-80,000
30		○		<新>朽網駅前自転車駐車場(西口)整備事業	朽網駅前自転車駐車場(西口)の整備を行う。	小倉南署朽網交番の駅前移転に合わせて、朽網駅前自転車駐車場(西口)の整備を行う。		70,000	70,000
31	○			都市再生整備計画(道路景観)	小倉都心地区、黒崎副都心地区にふさわしい、景観に配慮した道路の整備を行う。	予算計上はないが、小倉都心地区、黒崎副都心地区のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施するため、関係機関との調整を引き続き行う。	160,000	0	-160,000
32	○			単独事業(道路景観)	世界の環境首都をめざし、景観や環境に配慮した道路の整備を行う。	本市のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施する。	270,000	210,000	-60,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
33	○			戸畑枝光線(街路)	企業進出が進む響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区の物流機能強化を目的に戸畑枝光線の整備を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	1,480,000	3,990,000	2,510,000
34	○	○	<新>戸畑枝光線(街路)(債務負担)	企業進出が進む響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区の物流機能強化を目的に戸畑枝光線の整備を行う。			600,000	600,000	
35	○			社会資本整備総合交付金(街路)(債務負担)	地方道の都市計画道路の整備を行う。		1,250,000	1,976,378	726,378
36	○			社会資本整備総合交付金(街路)	地方道の都市計画道路の整備を行う。		1,671,000	2,252,760	581,760
37	○			単独事業(街路)	地方道の都市計画道路の整備を行う。		650,000	516,500	-133,500
38				モノレール停留場老朽化対策事業	モノレール停留場における老朽化対策を実施する。	—	0	0	0
39				公債償還特別会計繰出金	—	—	705,009	340,320	-364,689
40				街路事業用地先行取得事業	街路事業用地の先行取得を実施する。	—	2,400,000	2,400,000	0

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	建設局 公園管理課		重点項目	公園、霊園及び街路樹等の適切な維持管理の実施。								
	課長名	河田 守胤		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	2,662,410 千円	目安の金額	課長	1	人	
						H30(2018)年度当初予算額(B)	2,669,026 千円		76,500 千円	係長	2	人
						増減額(A-B)	-6,616 千円			職員	6	人
			人件費									

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				有料施設等管理委託 (指定管理者)	「響灘緑地」、「平尾台自然の郷」、「山田緑地」、「到津の森公園・ひびき動物ワールド」、「白野江植物公園」、「志井ファミリープール」、「勝山公園・あさの汐風公園」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	816,567	806,981	-9,586
2				有料施設等管理委託 (財源配分)(公共)	市立霊園に係る管理運営経費	—	43,251	43,250	-1
3				有料施設等管理委託 (財源配分)(その他)	市立霊園に係る管理運営経費及び有料公園施設の備品購入経費	—	16,114	15,916	-198
4				到津の森公園基金積立 事業	到津の森公園基金積立事業	—	19,000	20,000	1,000
5				到津の森公園動物導入 事業	動物の移送・購入	—	5,000	5,000	0
6				公園等維持管理事業	市内全域における公園等の維持管理事業	—	1,510,531	1,532,241	21,710
7				自然保護管理	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の維持管理事業	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の緑を保全していくために、今後も維持管理を継続していく。	2,122	2,030	-92
8				公園等一般管理(維持& 内部管理)	市内無料公園の維持管理事業	歴史資産を活用した魅力的な空間を保つため、花見時期における公園の維持管理に積極的に取り組む。	222,585	223,533	948
9	○			公園管理活性化事業	公園愛護会事業及びホームレス対策事業	市民参加による公園の維持管理と公園利用の活性化を図るため、公園の環境美化活動を行う地域住民団体(公園愛護会)に対し、活動規模に応じた資金援助を行う。	6,420	6,143	-277
10				市立霊園使用促進業務	市立霊園有効利用のための未使用区画及び無縁墳墓調査等整理事業	—	4,736	4,736	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				菜園などの地域コミュニティ活性化に資する公園活用事業	高齢者の健康づくりや世代間交流の場となる「地域菜園」や「花壇」など、地域のニーズに応じた整備事業	整備予定の公園(1件)について地元調整中。関係者の連携を図り、地域ニーズに合った整備を進めていく。	2,700	2,580	-120
12		○		公園等維持管理事業(除草方法の見直し)	市内の道路植栽地の雑草除去のための経費	—	20,000		-20,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	建設局 緑政課		重点項目 ■環境首都にふさわしい緑のシンボルづくり(曾根・豊岡地区) ■交流人口の増加に資する集客力の高い公園の整備(血倉山周辺地区、勝山公園(小倉城周辺)) ■地域ニーズに対応した身近な公園の再整備(地域に役立つ公園づくり、健康づくり、長寿命化ほか) ■市民ニーズを踏まえた公園の統廃合・再編(桃園公園施設再配置推進ほか)								
	課長名	竹島 久美		R1(2019)年度当初予算額(A)	2,846,500 千円	目安の金額	課長	1	人		
		コスト		事業費	H30(2018)年度当初予算額(B)		1,925,900 千円	86,500 千円	係長	3	人
					増減額(A-B)		920,600 千円		職員	6	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				血倉山リニューアル事業	2015年度年度に官営八幡製鉄所関連施設が世界文化遺産に登録されたことを契機に、観光振興をさらに向上させるため、血倉山周辺の新たな魅力創出のための山頂エリアの施設整備や駐車場整備などを行うもの。	山頂広場の実施設計、公園利用者の利便性向上のためのトイレの整備を進めていく	4,000	6,000	2,000
2		○		勝山公園(小倉城周辺)魅力向上事業	小倉城周辺の歴史的・文化的なイメージを生かし、あわせて利便性や魅力向上のため、園路及び広場、サクラの更新などを行い、回遊性のある名所としていくもの。	—	64,000		-64,000
3				桃園公園施設再配置推進事業	桃園公園にあるスポーツ・文化施設の再整備について、広域的・長期的な視点から検討を行い、施設の再配置計画を策定するもの。	桃園公園の旧室内プールの解体実施設計および駐車場整備、及び城山緑地のアーチェリー場の整備を行う。	28,200	283,000	254,800
4				曾根・豊岡地区公園整備事業	曾根・豊岡地区(9.7ha)において、グラウンド、野鳥観察エリアなどの整備を行う。	防災公園機能確保を優先するため、管理棟の整備を進める。	59,000	410,000	351,000
5		○		北九州市民球場改修事業	市民や野球関係者から要望のある老朽化した内野指定席の改修、建築物の耐震工事を行う。	2019年度防災安全交付金(公園)事業の中の一環として整備を進める。	6,000		-6,000
6				登山道・遊歩道の整備	登山ブームや2016年に施行された「山の日」に対応し、眺望の確保や標識の設置、危険箇所の改修を行うもの。	自然遊歩道歩きの快適性の向上のために、階段設置、案内板等の整備併せて樹木剪定・除草を行う。	6,000	5,500	-500
7	○			社会資本整備総合交付金(公園)	都市公園を整備し、市民満足度の向上を図る。	城山緑地の法面对策、地域に役立つ公園事業および公園施設ストック再編を進める。	382,100	287,000	-95,100
8				防災・安全交付金(公園)	防災公園を含めた都市公園を整備・改修し、非常時、通常時を含めた安全性の確保を図る。	都市防災事業として皇后崎公園に一時避難地としての広場整備、公園施設の長寿命化整備を進める。	63,700	471,000	407,300
9	○			公園緑地事業(単独)	住区基幹公園、都市基幹公園等の整備を行う。	小規模公園などの改修事業、公園施設の長寿命化、公園橋梁点検、公園計画などを行う。	850,830	923,670	72,840

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10			○	到津の森公園希少動物の保護、導入事業	動物の移送・購入	事業の見直しにより、No.10公園緑地事業(単独)に統合	5,500		-5,500
11				霊園整備事業	霊園の園路改修や樹木整理を行う。	城山霊園など6霊園の改修工事等を行う。	42,800	45,500	2,700
12				市民による地域のまちづくり整備事業(公園)	市民等の要望に応じて、公園の改修等を行う。	各区まちづくり整備課への市民からの要望を受けて公園施設の改修を行う。	10,000	10,000	0
13	○			花と緑のまちづくり推進	市民花壇、公共花壇などの整備や都市緑化に関する普及啓発事業を行う。また都市緑地法第二条に基づく、「緑の基本計画」を推進する。	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目的に花や緑を活用する事業を行う。	72,270	72,030	-240
14				大都市公園機能実態調査	国土交通省、大都市(21市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行う。	国土交通省、大都市(21市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行う。	2,000	2,000	0
15				水と緑の街づくり事業	水と緑の基金を原資とし、民有地緑化助成事業、保存樹診断事業を行う。	樹木医による保存樹診断の実施や保存樹標柱の設置を行う。	6,900	2,800	-4,100
16				水と緑の基金積立金	水と緑の基金の運用益、寄付金を積み立てる。	—	2,000	2,000	0
17				旧安川邸利活用事業	夜宮公園に隣接する私設の建造物を市に寄付で受け入れ、観光施設として改修するもの。	庭園整備、管理棟、トイレなどの整備を進め、早期のにぎわい創出を目指す。	67,600	300,000	232,400
18		○		<新>コンクリートブロック塀安全対策事業	公園施設のコンクリートブロック塀の現地点検結果により、傾きやひび割れが確認されたため、改修を行う。	対象となったブロック塀の改修を行う。		26,000	26,000
19			○	河内温泉改修事業	老朽化している河内温泉の屋根、省エネシステムの設計	—	253,000		-253,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	建設局 河川部 (水環境課、河川整備課、 神嶽川旦過地区整備室)		重点項目 小倉都心部の浸水対策については、引き続き重点的に取り組む。 その他の地区についても、近年頻発する豪雨災害を踏まえ、計画的な河川改修を推進する。 2018年7月豪雨により、浸水被害が発生した箇所を中心に治水能力向上を図る。									
	課長名	大貝 保志 清水 俊光 船越 英明		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	3,751,725 千円	人件費	目安の金額	課長	3	人
					H30(2018)年度当初予算額(B)	2,064,880 千円	係長		8	人		
					増減額(A-B)	1,686,845 千円	職員		22	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			重点河川(小倉都心部)整備事業	新成長戦略上も重要な、小倉都心部の浸水対策を推進するため、神嶽川を重点河川と位置づけ、集中的に河川改修を行う	—	102,000	45,000	-57,000
2		○		旦過地区再整備推進事業	重点河川(神嶽川)の改修に必要な旦過地区の再整備について、地元関係者との合意形成を図りながら事業化組織の設立を行う	2018年で終了(都市再生整備計画(河川)に統合)	15,900		-15,900
3	○	○		<新>都市再生整備計画(河川)	景観整備等のハード対策及び、賑わい創出等、まちの活性化を目的としたソフト対策を行う。	旦過地区の再整備について、早期かつ着実な事業実施のため、市施行による土地区画整理事業の事業化を目指すこととした。それに伴う検討課題を中心に、にぎわい機能強化等に必要調査、検討及び支援を行う。		35,000	35,000
4	○	○		<新>豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	2018年7月豪雨により浸水被害が発生した箇所を中心に、河道掘削、護岸高上等のハード対策や、監視カメラや警報装置の設置等、ソフト対策として情報システム強化を図る。	2018年7月豪雨により被害が発生した河川の改修、河川情報システムの強化、護岸の長寿命化を行う。		520,000	520,000
5	○			災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	2018年7月豪雨の激甚災害指定に伴い、市で実施可能となったがけ崩れ対策事業。地域防災上、重要な箇所の復旧整備を進める。	2018年7月豪雨の激甚災害指定に伴い、崩落した自然がけの再度災害を防止するため、がけ崩れ防止対策工事を行う。	0	220,000	220,000
6				河川管理施設等更新事業	老朽化した河川管理施設等を適切に更新するための経費	引き続き、治水事業の根幹となる河川整備を推進する。	68,912	68,000	-912
7	○			防災・安全交付金(河川)	市内を流れる一・二級河川について、管理者である福岡県と協議の上、改修を行うもの	—	975,000	1,962,000	987,000
8				社会資本整備総合交付金(河川)	市民が河川を通して自然と親しめる水辺環境づくりを行う	—	12,000	9,000	-3,000
9	○			河川改良(単独)	主に普通河川を対象とした護岸、河床の改良及び予防保全を目的とした改修を行う。	—	474,588	492,700	18,112
10				市民による地域のまちづくり整備事業(河川)	各区まちづくり整備課において、市民要望を反映した身近なまちづくりの環境整備を行うもの	—	40,000	40,000	0
11				にぎわいの都市づくり(河川)	紫川周辺の河川環境の向上および、街のにぎわいに資する水辺の活用、周辺設備の充実を図るもの	—	26,600	26,590	-10

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				河川環境啓発推進事業	河川愛護団体間の交流促進事業、河川事業のPR、川についての知識や技術をもった「水先案内人」の育成などを行うもの	—	793	600	-193
13		○		河川管理施設長寿命化計画策定	予防保全的な取り組みにより、河川施設の長寿命化を推進し、改修費の縮減を図る	—	9,000		-9,000
14				水環境館維持管理(指定管理)	「水環境館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	25,245	25,049	-196
15				水環境館維持管理(公共)	機器修繕費等、水環境館の維持管理経費	—	7,570	7,560	-10
16				ほたる館維持管理(指定管理)	「北九州市ほたる館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	14,713	12,637	-2,076
17				ほたる館維持管理(公共)	「香月・黒川ほたる館」の管理、清掃、警備に関する委託費や、光熱水道経費	—	7,320	7,320	0
18				ほたる館維持管理(その他)	「北九州市ほたる館」および「香月・黒川ほたる館」の書籍等の拡充や老朽化した展示物の補修などにかかる経費	—	727	727	0
19				ほたるのふるさとづくり	ほたる愛護団体への補助、地域における環境保全活動の指導者を育成する「ほたると水辺の環境学習会」の開催費など	・ほたる保護活動の活発化や団体間の交流促進を図る必要がある ・多くの市民が水辺環境について学ぶ環境を整備する	4,675	3,366	-1,309
20				河川台帳整備事業	河川及び水路の管理のため、その台帳等を整備するもの	—	8,059	8,146	87
21				河川管理権限委譲	一・二級河川について、福岡県からの河川管理権限の委譲について必要な協議を行うための経費	—	561	469	-92
22	○			河川維持事業(公共)	河川・水路の草刈、浚渫、護岸修繕工事等に要する経費および河川愛護団体補助金	—	190,260	185,820	-4,440
23				河川管理一般(公共)	河川情報システム等、災害時に現地情報を伝送するための設備の維持管理に必要な経費	2018年度の豪雨災害で浸水した箇所に対し、監視カメラを追加し、防災機能の強化を図る。	10,621	14,965	4,344
24				河川管理一般(その他)	河川賠償責任保険料や河川管理に必要な協議を行うための経費	—	4,339	4,522	183

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
25				排水機場等維持管理事業(公共)	排水機場並びに防潮水門等の施設を適切に維持管理し、施設の正常な運転を行うための経費	—	65,997	59,974	-6,023
26		○		<新>ほたるサミット開催事業	例年持ち回りで開催している「ほたるサミット」を北九州市で開催するために必要な経費	—		2,280	2,280